

**X-XX**

日本語タイトルはここに記入して下さい  
English title should be written here

ヘリウムくん<sup>A,B</sup>、チッソちゃん<sup>A,B</sup>、ヘリオスくん<sup>B</sup>

<sup>A</sup> 低温センター・液化供給部門、<sup>B</sup> 同・ゆるキャラ部門

A4 用紙 1 枚以内におさめてください。

参加者の専門は多岐にわたりますので、異分野の研究者にもできるだけ分かり易く説明してください。

参考文献は [1] のように半角大カッコで囲み表示し、文末に記載するようお願いします。

## 1. 図表の挿入

図表は自由に挿入していただいて結構です。挿入例（図 1、表 1）を参考にしてください。図の容量は、アブストラクトファイルのサイズが数 MB 以内におさまるよう調整してください。

解像度の目安：350 dpi  
色：できれば CMYK

図 1. 図の挿入例。

表 1. 表の挿入例

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4
値 1	値 2	値 3	値 4
値 5	値 6	値 7	値 8

文の途中に図を挿入する場合は外周に文字が回り込むように設定してください。図 2 では、wrapfig パッケージで定義されている wrapfigure 環境を使用しています。

図のファイル形式は、EPS が推奨ですが、JPEG・PNG でも結構です。エラーが出る場合は、bb ファイルや xbb ファイルを作成するか、`\includegraphics` 直後の `[]` 内に、`bb=0 0 width height` という形式で幅と高さの情報を追記して下さい。このファイルは、`dvipdfmx` を使用する設定になっています。必要に応じて、4 行目の `\usepackage[dvipdfmx]{graphicx}` の部分を書き換えて下さい。

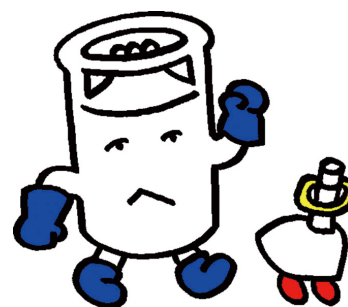


図 2. 図の挿入例 2。

## 2. 参考文献

参考文献は、`thebibliography` 環境を使用し、標準的な形式（たとえば APS や Science 等の雑誌に準拠した形式）での記入をお願いいたします。

---

[1] C. Cryogenic, and T. Teion, Phys. Rev. B **64**, 1999 (2012).